

平成16年度シラバス

国語総合

教科	国語	単位数	4 単位	学科・学年・コース・組	普通科 1年 1組～4組
使用教科書	「国語総合」(出版)				
副教材等	「漢字練習ノート」、「国語便覧」(出版)、「文語文法」(出版)、「漢文」(出版)				

1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成します。
 伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨きます。
 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成します。
 現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を育成します。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	単元名	教材	備考	主な学習の領域	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	言語活動	主な評価方法
4	随想を読む	『真実の鏡』		読む	・随想の内容を叙述に即して的確に読み取る。 ・文章を読みものの見方、考え方を広げる。		授業の取組の様子
	ショウアツドテルで自己紹介			話す ・聞く	・目的や場に応じて、効果的に話す。	A(ア)	授業の取組の様子 ショウアツドテル
5	小説を読む(1)	『羅生門』		読む	・登場人物の心情などを表現に即して読み味わう。 ・表現の特色をとらえる。	C(ア)	授業の取組の様子 感想文
	手紙文を書く(近況報告)	近況報告の手紙例文		書く	・相手や目的に応じて、効果的な表現を考えて書く。 ・優れた表現を自分の表現に役立てる。	B(イ)	授業の取組の様子 手紙文
	古文入門	『ちごのそら寝』		読む	・人物、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語の決まりを理解する。		授業の取組の様子
6	定期テスト						
	中世の随筆を読む	『徒然草』 『龜山殿の御池』ほか		読む	・人物、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、考え方を広げる。		授業の取組の様子
	評論を読む(1)	『水の東西』		読む	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。 ・東西のものの見方の違いを知り、考え方を広げる。	C(ア)	授業の取組の様子 ワークシート
7	意見文を書く(1)	コピュタの活用		書く	・論理的な構成を工夫し自分の考えを文章にまとめる。	B(ア)	授業の取組の様子 意見文
	私たちの読んだ本(前半)	ブック・レビュー 図書館活用		読む	・様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方等を広げる。	C(イ)	ブック 本の紹介文
9	私たちの読んだ本(後半)	グループによるブック		読む		B(ウ)	
	近代の名詩を読む	『レモン哀歌』ほか		読む	・詩の情景、心情などを表現に即して読み味わう。	C(ア)	授業の取組の様子 鑑賞文
	新聞を読んで考えたこと	新聞		話す ・聞く	・様々な問題について自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べる。	A(イ)	授業の取組の様子 発表
10	定期テスト						
	歌物語を読む	『伊勢物語』 『芥川』ほか		読む	・人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・文語の決まりを理解する。	C(ア)	授業の取組の様子 感想文
	評論を読む(2)	『日本のゴミ』 『森は海の恋人』		読む	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。 ・文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を広げる。	C(ウ)	授業の取組の様子 ワークシート
11	意見文を書く(2)	環境についての意見 文執筆 図書館活用		書く	・情報を収集し、整理する方法を身に付ける。 ・論理的な構成を工夫し自分の考えを文章にまとめる。	B(ア)	授業の取組の様子 意見文
	漢文入門	『名言』		読む	・文章を読んでものの見方、考え方を広げる。 ・訓読の決まりを理解する。		授業の取組の様子
12	論語の世界	『論語』		読む	・古典に表れた思想を読み取り、ものの見方、考え方を広げる。	C(ア)	授業の取組の様子 感想文
	定期テスト						
	ディベートを楽しむ	情報通信ネット活用 (情報収集)		話す ・聞く	・考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重して話し合う。	A(ウ)	ディベートシート
1	小説を読む(2)	『ナイン』		読む	・情景、心情などを表現に即して読み味わう。		授業の取組の様子
	聞き書き(前半)	「あなたの青春時代は？」のテーマで親世代へのインタビュー後、原稿執筆		話す ・聞く	・目的に応じて、効果的に話したり、的確に聞き取ったりする。	A(イ)	授業の取組の様子 聞き書きをまとめた文章
1	聞き書き(後半)			書く	・目的に応じて、効果的な表現を考えて書く。	B(ウ)	
	史伝を読む	『十八史略』 『鶏口牛後』ほか		読む	・史伝の人物、心情を表現に即して読み味わう。		授業の取組の様子
1	軍記物語を読む	『平家物語』		読む	・軍記物語の人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。		授業の取組の様子

2	言葉を見直す 調査して書く - 気になる言葉	『木曾殿の騷』 『言葉の虫眼鏡』 図書館活用	読む 書く	う。 ・現代社会の言語生活の在り方について関心を深める。 ・身の回りの言葉について効果的な表現を考えて書く。	B(ウ)	音読チェック 授業の取組の様子 言葉についての 随想
	小説を読む(3)	『伊豆の踊子』	読む	・情景、心情などを表現に即して読み味わう。 ・表現の特色をとらえる。	C(ア)	授業の取組の様子 感想文
3	定期テスト					

【上の表にある「言語活動」としては、次のようなことを行います。】

A 話すこと・聞くこと

- (ア) 話題を選んで、スピーチや説明などを行います。
 (イ) 情報を収集し活用して、報告や発表などを行います。
 (ウ) 課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話し合いや討論などを行います。

B 書くこと

- (ア) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書きます。
 (イ) 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書きます。
 (ウ) 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりします。

C 読むこと

- (ア) 文章に表れたものの見方や考え方などを読み取り、それらについて話し合います。
 (イ) 考えを広げるため、様々な古典や現代の文章を読み比べます。
 (ウ) 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表します。

3 課題・提出物等

- 各単元において、学習プリントやレポート等を提出してもらいます。また、ノートや感想文、「相互評価表」なども提出してもらいます。その都度、先生から指示がありますので、よく聞いて提出期限の日までに提出してください。
- 毎週決められた曜日に「漢字書き取りの小テスト」を行います。テストの範囲は別途先生から連絡がありますから、計画的に学習しましょう。
- 夏休みの課題として、読書感想文を提出してもらいます。具体的な要項は夏休み前までに連絡しますが、日ごろから読書に親しむ生活を心がけましょう。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況など） 「話す・聞く」や「書く」学習の際の発表や評価表 学習プリントやレポートなどの提出物 年4回実施する定期テスト <p>なお、前期・年間の評定は、上記の評価に加えて、毎週行う漢字書き取りの小テストの成績や定期テストの成績をもとに、総合的に判断します。</p>				

5 担当者からのメッセージ

皆さん、入学おめでとう。これから始まる高校生活、きっと希望に胸をふくらませていることと思います。

さて、国語科では、3年間の国語の授業を通じて、皆さんに、社会人として通用する「話す力・聞く力」や「書く力」、また「読む力」を付けることを目標としています。それらの力を育てるために、1年生では「国語総合」という科目を学習します。

「国語総合」は中学校国語の内容を受け、高等学校国語の基礎的な内容を学ぶ科目です。内容的には、「現代文」の文章の他に、「古文」や「漢文」の文章や、様々な言語活動を通じて学んでいくこととなります。

「現代文」では、明治以降の「随想」や「小説」、「評論」、「詩」などを通じて、「読む力」を付ける学習をします。「古文」では、我が国の古典文学作品を通して、日本の文化や表現の美しさ、豊かな表現力や生き方・考え方を学びます。併せて、古文特有の表現を理解するために、文法的な事項や修辞法などについても本文の学習の中で学習していきます。「漢文」では我が国の文化に深い影響を与え、つながりの深い中国の古典を学習します。本文に用いられている漢文特有の表現を理解するために、「訓読するための決まり」（訓点や書き下し文）、「句法」についても併せて学習します。

また、科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。

1年後に、高校生としてふさわしい確かな表現力が育っているように、しっかり学習していきましょう。